

十九回生同期会

二〇二三年十月二十九日(日)に新宿三井クラブにて、十九回生(一九六七年卒)の第十二回同期会を開催しました。コロナ禍の影響で前回の同期会から四年ぶりの開催となりましたが、出席した同期生は八四名でした。毎回のように出席される方が多いもの、中には四十数年ぶりに出席された方もいらっしゃいました。

冒頭、十九回の代表幹事で朝陽同窓会の幹事長でもある橋本健一様による開会の挨拶があり、その中で母校や同窓会の現状等もご披露されました。その後、恒例の前回の同期会以降の物故者(今回は六名でした)への黙祷を捧げたのちに、お待ちかねの歓談タイムとなりました。

やや開催間隔が伸びたこともあつてか、会場のあちらこちらで、食べることも忘れて在校当時の思い出話や近況報告等で談笑される姿がみられました。また、年齢相応なのでしょう(我々は誕生日に後期高齢者の仲間入りをしたばかりです)、早くから着席される方も多くなってきました。



歓談の間には、同じく代表幹事の太田(旧姓中川)公子様の軽妙な司会により、遠方から出席された方等へのインタビューも行われ、和やかな雰囲気広がっていました。

中盤にはこれも恒例のクラス毎の集合写真の撮影が行われ、最後に全員で校歌と健児の歌を斉唱したあと、吉岡喜人様による

閉会の挨拶でお開きとなりました。その後は、三々五々二次会に向けて新宿の街に散っていききました。

出席された皆様、開催に携わったクラス幹事の皆様、大変お疲れ様でした。次回の開催は未定ですが、是非多くの同期生の皆様にご出席頂きたいと思えます。(十九回 大石和夫)